



Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT

報告書

3月 9日 (木)
3月18日 (土)
3月19日 (日)
3月21日 (火)

舞洲フォーミュラトレーニング
岡国フォーミュラトレーニング
岡国フォーミュラトレーニング
舞洲フォーミュラトレーニング

2023 3 MAR

Junior Drive

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド

Tommykaira



GARAGE38
Luce ed ombra





15°C

Track
MAISHIMA

Driver
Kamui Hashiramoto/Haein Hwang/Tomo Onohara

★トレーニングプログラム

- 9:45～ 集合（広場現地にて）
- 10:00～ 脱出訓練（5秒以内にマシンから降りる練習）
- 10:15～ ドグミッション慣熟走行① 10分×3名 ロングストレート 3速ギヤまで
- 11:00～ ドグミッション慣熟走行② 10分×3名 ロングストレート 4速ギヤまで
- 12:00～ 昼休憩
- 13:00～ Aコース練習走行① 10分×3名
- 13:45～ Aコース練習走行② 10分×3名
- 14:30～ Aコース練習走行③ 10分×3名
- 15:15～ ロガーチェック
- 15:30～ Aコースタイム計測走行 5分×3名
- 16:00～ ロガーチェック
- 16:15～ コース清掃&車両ワックスかけ
- 17:00 解散



縮まる3人のタイム差

3期生たちのフォーミュラトレーニングが行われました。ドライバーは柱本翔夢伊（12）、ファン・ヘイン（10）、小野原智（10）の3名が参加しました。

恒例の朝の脱出訓練を終え、走行練習へと移ります。まずは直線区間のみを使用した発進～シフト操作を重点的に行いました。まだ完璧とは言えないものの、3人とも着実に成功率が高くなり、シフトミスをしてもしりカバリーが素早くできるようになりました。

午後からはコースを周回するサーキットトレーニングに移ります。柱本と小野原は順調にラップを重ねていきましたが、ファンがリズムを掴めず苦戦していました。無線で講師からのアドバイスを受けながら、周回を続けていきました。

10分の計測走行がスタート。このセッションはロガーを収集し、最後の5分間のタイムアタックに向けて、ドライビングの修正箇所を見つけるための走行です。一人一人違った課題が見つかり、それぞれが自らの課題クリアに向けて5分タイムアタックに入っていました。柱本は安定した走りでお好タイムをマーク。小野原もそれに迫るタイムを刻みます。この日苦戦していたファンが、最後の最後で小野原を超えるタイムを記録し2番手となりました。終わってみれば0.3秒の中に3人が入るほどの近いタイム差となりました。





16°C

Track
OKAYAMA

Driver
Yuma Sugita/Yuzuki Miura

★トレーニングプログラム

- 12:10～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 12:20～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
- 12:55～ ロガー&車載映像 解析
- 13:35～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 13:45～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 14:20～ ロガー&車載映像 解析
- 14:55～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 15:05～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
- 15:40～ ロガー&車載映像 解析
- 16:15～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 16:25～ フォーミュラ走行枠④ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 17:00～ ロガー&車載映像 解析
- 17:30 解散



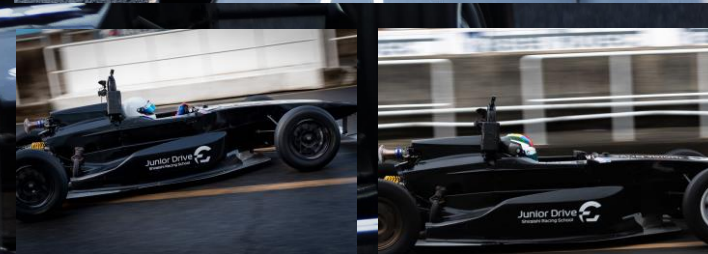
好コンディションの中ベストを更新

1期生の三浦と2期生の杉田がトレーニングに参加しました。この日の天候は晴れ。朝は前日までの雨でやや濡れている状況でした。

1セッション目は三浦からスタート。セッション開始時には路面もほぼ乾いており、スリックタイヤでコースインしてきました。走り出しからグリップを感じたようで、やや濡れた縁石もしっかり使って、ラップタイムもどんどん上がっていきます。路面コンディションは非常に良く、周りの選手たちも好タイムをマークしていました。三浦もほぼ自己ベストに近いタイムをマークし、1セッション目を終えました。

2セッション目は杉田。三浦の良い走りを見てからの走行で、やや緊張した様子でした。しかし走り出すと、いきなり好タイムを連発していきます。そして、セッション真ん中あたりに、ジュニアドライブレ生の中でのベストタイムを更新し、勢いのある杉田が戻ってきました。

3セッション目は三浦に交代し走行がスタート。タイムは杉田に届かなかったものの、コース前半では杉田のタイムを上回るペースで走っており、また自らの不得意な部分を修正することができ、良い形でこの日のトレーニングを終えました。





18°C

Track
OKAYAMA

Driver
Yuma Sugita

★トレーニングプログラム

- 13:35～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 13:45～ フォーミュラ走行枠① 30分
- 14:20～ ロガー & 車載映像 解析
- 14:55～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 15:05～ フォーミュラ走行枠② 30分
- 15:40～ ロガー & 車載映像 解析
- 16:15～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 16:25～ フォーミュラ走行枠③ 30分
- 17:00～ ロガー & 車載映像 解析
- 17:30 解散

SPORTS KART

Rental Kart Land ISK

舞洲スポーツアイランド

Tommykaira

LAPS
PRO e-RACING DRIVERS

GARAGE38
Luce ed ombra

INLAY
STICKER'S
LOCKOMO


MIB

Junior Drive
Shiraishi Racing School



前日からの修正

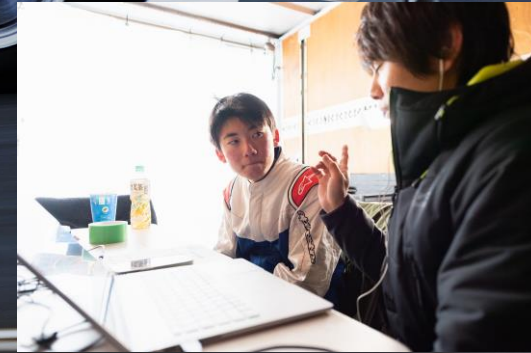
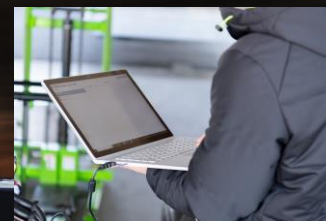
2期生の杉田がトレーニングに参加しました。この日は快晴で1日晴れ予報でした。

前日に自己ベストを記録し、良い形で1日目を終えられた杉田。2日目は、1日目に見えた課題を一つ一つクリアにしていきます。この日は30分のセッションが3回実施されます。

タイヤは前日からのものを引継ぎで使用するため、ラップタイムよりもデータロガーやオンボード映像を見て、走りの修正ができているかを重要視しました。1セッション目は、まだタイヤのグリップがある間に、前日からの課題を修正しようということになりました。杉田自身の良い部分でもあり、それが出すぎてしまうと、逆にタイムロスに響く部分があり、それを少しずつ修正していきました。

杉田は感覚で走るタイプのドライバーなので、そこにある程度の知識が噛み合うと、非常に良いドライバーになり得る可能性を秘めています。

最後の3枠目後半には、少し集中力が切れてきた瞬間も見られましたが、無事に走り切りすべてのメニューをこなし、この日のトレーニングを終えました。この2日間でしっかり走り込めたことは、杉田にとって大きな自信になったはずです。





19°C

Track
MAISHIMA

Driver
Yu Onohara/Yusuke Okano/Yuzuki Miura

★トレーニングプログラム

- 9:45～ 集合（広場現地にて）
- 10:00～ 脱出訓練（5秒以内でマシンから降りる練習）
- 10:15～ ドグミッション慣熟走行① 10分×3名 ロングストレート
- 11:00～ ドグミッション慣熟走行② 10分×3名 ロングストレート
- 12:00～ 昼休憩
- 13:00～ Aコース練習走行① 10分×3名
- 13:45～ Aコース練習走行② 10分×3名
- 14:30～ Aコース練習走行③ 10分×3名
- 15:15～ ロガーチェック
- 15:30～ Aコースタイム計測走行 5分×3名
- 16:00～ ロガーチェック
- 16:15～ コース清掃&車両ワックスかけ
- 17:00 解散

SPORTS KART

Rental Kart Land ISK

舞洲スポーツアイランド

Tommykaira

LAPS
PRO e-RACING DRIVERS

GARAGE38
Luce ed ombra

INLAY
STICKER'S
LOCKOMO


MIB

Junior Drive
Shiraishi Racing School



感覚を取り戻す

1期生の小野原と三浦。2期生の岡野がトレーニングに参加しました。小野原と岡野は半年以上のブランクがあり、フォーミュラ感覚を取り戻すことを目的として、この日のトレーニングが実施されました。

この日の天候は曇りで午後から雨の予報となっていたため、全てのトレーニングメニューを前倒しにして進めていきました。まずは脱出訓練からスタートしていきます。3名全員が規定時間内の短い時間で脱出を完了させました。

そして走行がスタート。ブランク無しの三浦は、さすがというべきか完璧なシフト操作を見せつけました。小野原と岡野は、まずは感覚を取り戻すところからありましたので、少しずつ慣れていっているように見えました。雨が降る前のドライコンディションの中でのタイム計測を完了させるため、午前中にロガー収集とタイムアタックを行いました。ここで素晴らしい走りを見せたのがブランクのある小野原でした。まさかの三浦を上回るタイムを記録し、周囲を驚かせました。

そして昼過ぎから雨が降り始め、午後からはウェットコンディションでの走行となりました。ウェットでのロガー収集とタイムアタックも再度行い、ドライコンディションとの走らせ方の違いなどを学びました。1日でドライ・ウェット両方の走行ができ、充実したリハビリ走行となりました。



Yuma - SUGITA (14) Best 1.39.782 Okayama

先月のクラッシュから完全に復活した杉田。ラップタイムも自己ベストを更新し、スピンやコースオフも一度もなく、すべてのメニューを走り切りました。夏のフランス修行に向けて、この数カ月が非常に大事になってきます。



Yuzuki - MIURA (16) Best 1.40.901 Okayama/ 40.733 Maishima

タイムでは杉田に大きく引き離された三浦ですが、タイヤが減ってきてからのコンディションでは杉田と同等のタイムで周回を重ねており、コントロール能力の高さを証明しました。来月には韓国でのデビュー戦が待っています。



Yu - ONOHARA (13) Best 40.684 Maishima

半年ぶりのフォーミュラとは思えないドライビングを見せた小野原。ドライのタイムアタックでは三浦を上回るタイムを記録し、周囲を驚かせました。午後のウェット走行では三浦のタイムに届かず課題が見えましたが、それでも良いリハビリになったと思います。



Yusuke - OKANO (14) Best 43.914 Maishima

昨年10月の岡山でのクラッシュから復活した岡野。ドライビング面でのブランクは想像以上に感じたものの、再びフォーミュラマシンを操作する楽しさなどのメンタル面でのリハビリとしてこの日を有効に使うことができました。彼のドライバー活動がここからリスタートします。



DRIVERS PERFORMANCE Gin.3

Kamui - HASHIRAMOTO (12) Best 41.560

1-2期生たちが舞洲を走行したことで、柱本にはまだまだ伸びしろがあることがわかりました。今のライバルは同じ3期生たちですが、この先には1-2期生たちと同じ舞台で争うことになります。更なる高みを目指して、これからのトレーニングに励んでもらいたいです。



Haein - HWANG (10) Best 41.719

3名の中で最もシフト操作に苦戦が見られるファン。タイムこそは残したものの、基本操作がおろそかになっており、ここからどれだけ上がってこれるかが重要です。もともとスピードはあるので、自らの課題をしっかりと理解して、基本操作面をマスターできれば、さらなるタイムアップが望めます。



Tomo - ONOHARA (10) Best 41.875

3名の中で最もシフト操作が美しいのは小野原です。今回新たに見えた課題は”1周を纏める力“にあります。しっかりベストで繋いでいけば、前の2人を超えるほどのスピードはあるので、今後はそこを改善してほしいです。



【トレーニングを終えて】

岡山国際サーキットでのトレーニング経験を持つ1-2期生たち。

久しぶりに舞洲で走っている姿を見て、上の次元でのマシンコントロールができているなど感心しました。

また1-2期生たちが舞洲で走行したことで、3期生たちの今のレベルも再確認できました。

上のステージで競い合い学ぶことで、知らずのうちにジュニアドライバーたちは成長しているのだと感じました。

いよいよ来月には、1期生の三浦が韓国でレースデビューを果たします。

Junior Drive講師 白石勇樹





Junior Drive
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



Rental Kart Land ISK

舞洲スポーツアイランド

Tommy kaira



PRO e-RACING DRIVERS

GARAGE38

Luce ed ombra



Artisanal Racing Group Oun



Junior Drive
Shiraishi Racing School

